

いじめ防止対策推進法施行(2013/9/28)以降の重大事態 調査委員会  
【 いじめ・指導死が背景要因に疑われる自殺・自殺未遂(1号事案) 】

※ あくまで武田個人がネットや報道等で調べた範囲内の情報です。全てを網羅しているわけではありません。

2013/9/28 いじめ防止対策推進法施行						
No	事案発生日	適用	概要	調査委員会の設置・調査内容	調査委員	報告書・その後
94	2019/1/15	自殺	大阪府泉佐野市の自宅近くのマンションから、市立佐野中学校の女子生徒(中2)が飛び降り自殺。遺書のようなものが残されていた。	市教委はいじめと自殺との関係を調べる第三者委員会の設置を検討したが、遺族が詳細な調査を希望しなかったため見送った。 2019/1/17-30 市教委は、遺族の要望を受け、同級生や教職員らに聞き取り調査を実施。	市教委	2019/6/14 市教育委員会は、生徒へのいじめがあったと認定。 いじめが自殺に影響を与えたかどうかは判断できないとする。 女子生徒は、20 時年秋ごろから一部の生徒から無視されるようになり、仲間はずれにされるなど、いじめと認められる行為が確認された。 女子生徒は友人に相談しており、学校にいる際、「しんどい」「死ぬって言ったらどうする？」と言われてたり、紙に書きこむ様子があったという。 複数の教職員も「一人でいるようになった」などと女子生徒の変化に気づいていたが、特別な対応をしなかったという。
95	2019/1/16	自殺	青森県野辺地町の私立八戸学院野辺地西高校の山田武さん(高2・17)が自殺。 部屋に残された教科書の間からは「死ね」と書かれた紙が発見された。また、亡くなる前年の夏頃、ワイシャツの背中に	2019/8/ 学校を運営する学校法人光星学院(八戸市)は遺族の要請を受け、弁護士や臨床心理士ら4人でつくる第三者委員会を設置。	委員長: 木下 晴耕 弁護士	2020/6/ 第三者委員会は遺族に対し、「学校でのいじめは確認できなかった」とする最終報告書を近くまとめる方針であることを伝えた。  2020/7/30 第三者委は、「学校でのいじめは認められず、自殺の原因は度重なる失恋の悩みと考えられる」とする報告書を学校側に提出。

			靴跡をつけて帰ってきたことがあったという。学校側は全校集会を開いて男子生徒が自殺したことを告げ、全校生徒にアンケートをするなどして調べたが、いじめの有無は確認されていないという。			生徒の死後、生徒の教科書から「死ね」と書かれたメモが見つかったことについて、報告書は、メモの存在は認めながらも、「記述を文字通り捉えて深刻に受け止めたものとも、何らかの苦痛や嫌悪感を抱いたものとも認められない」などとして、いじめにはあたらないとした。 「生徒が帰宅した際、着ていた服に蹴られたような足跡が付いていた」という家族の証言については、客観的証拠が存在しないとして退けた。 その上で生徒に複数の交際経験があったことから、度重なる失恋に原因を求める結論を出した。
95				2020/8/21 県は、青少年健全育成審議会を開催すると発表。複数回会合を開き、意見を集約して、再調査の必要性を判断する。		
96	2019/2/1	自殺	群馬県前橋市の県立勢多農林高校の伊藤有紀さん（高2・17）が踏切自殺。 残された数十枚のメモには、「ツイッターに悪口を書かれ、うざいと言われたり、無視されたりした」「先生は私の言葉を信じてくれなかった。ネットで悪口を言われているの	2019/3/31 高校は、A4用紙 1 枚の基本調査結果を遺族を手渡し、報告。 亡くなる約2週間前、ホームルームの時間に「3 年生を送る会」の準備での打ち合わせで、ヒロイン役となった有紀さんに対し、周囲の生徒から「なぜ（当該生徒）がやるのか」「他に似合う子がいるのに」など、生徒が複数の否定的な発言をした点をいじ	弁護士や精神科医、教育関係者ら6人。  委員長：小磯 正康 弁護士 委員長職務代理者： 吉田 浩之 大学教授 福田 正人 大学教授 横田 正夫 大学教授 大津 豊美 保護者（PTA関係）  臨時委員	2020/3/30 中間報告 約10 頁

			<p>は本当なのに」「もうつかれた」「耐えられない」などと記されていた。</p> <p>女子生徒は入学した数カ月後から周囲の生徒に嫌がらせを受けていたという。「いじめる生徒がいる」と家族に話し、体調不良も訴えた。教員から呼び出されて個室で厳しく指導され、泣きながら帰宅することもあったという。亡くなる1カ月ほど前から体調が悪化。亡くなる約1週間前に「同級生から『死ね』と言われた」と母親に相談。事故当日は体調が悪く、学校を早退し、家族が付き添って病院で受診。帰宅後に姿が見えなくなった。</p> <p>有紀さんは一部の授業を負担に感じて2018年7月に自殺未遂したことがあった。学校は、有紀さんのメモは死亡直前でなく1年生時に書かれた可能性が高いとし、同級生らへの聞き取りでいじめ</p>	<p>めと認定。</p> <p>また、女子生徒が担任に相談していたことは認めた。が、相談後の対応など詳細は「調査中」とした。打ち合わせ後の当日、有紀さんが「死ねばいいのに」と言われたと訴えている点や、1年時に醜いイダカデバネズミに似ていると言われたという訴えを含む20数枚のメモに書き残した点は、いじめと認めていない。また、いじめが常態化していたことは否定。</p> <p>県教育委員会は、第三者委員会で死亡との因果関係などを調査する。</p> <p>「県いじめ問題等対策委員会」は弁護士や精神科医、教育関係者ら5人で構成される県教委の常設の附属機関。今回の自殺がいじめ防止対策推進法の「重大事態」に相当するとした。</p> <p>2019年4月から2020年3月まで13回会議。</p> <p>聞き取りは女子生徒の両親、教職員11人、クラス生徒13人、中学時代の友人ら6人、通院していた医療機関2人、県教委職員</p>	<p>猶原 宗雄 臨床心理士 池末 登志博 弁護士</p> <p>2019/5/上旬</p> <p>父親は県教委へ委員の交代を電話で求め、17日に県教委を訪れたが、「特定の委員を除外しない」などと文書で回答があった。</p> <p>1人は2010年に桐生市で女子児童(小6)が自殺した問題で、両親から聞き取りせずに「家庭環境などの要因も加わった」と指摘した調査委の元委員。</p> <p>(その後、委員は続けるが、同事案の調査は辞退)</p> <p>委員3人は前身の委員会の設置当初の2011年から委員。うち一人は県の審議会や別の委員会でも長年委員を務める。</p> <p>別の審議会で長年委員を務める人もいる。</p> <p>県の委員ではそれぞれ報酬が出ている。残る委員も県内の公職を務める。</p>	
--	--	--	--	--	---	--

			が確認できなかったとした。	4人に実施した経緯を記した。 アンケートはクラスの生徒 38人、部活動で関係があった生徒 20人に配布。回答はクラスで21人、部活動で9人からあったという。		
97	2019/3/9	自殺	宮城県亘理町(わたりちょう)の町立吉田中学校の男子生徒(中2・14)が自宅で自殺。 男子生徒は昨年9月ごろから体調不良を訴えるようになった。 今年2月、男子生徒が授業を抜け出し、屋上から飛び降りようとしたことがあった。 2月下旬、男子生徒は中学校で授業中に、男性教諭から「シャツが出ていて赤ちゃんみたいだ。シャツを入れてやろうか」などと、ほかの生徒がいる前で繰り返し暴言を受け、帰宅後両親に対して「みんなの前でバカにされて悔しかった」と涙を流しながら話をしていたという。 男子生徒は3月初めに	2019/4/12 遺族は県教委に真相究明のための第三者委員会を速やかに設置するよう求める要望書を提出。 第三者委に遺族推薦委員を半数入れることや、教員や生徒を対象にしたアンケートの実施なども求めた。  2019/5/ 速やかな調査のため、遺族が求めている県教委ではなく、町側に第三者委を置く方針の了承を得る。  生徒や教員にアンケートを行い、教員による不適切な言動の有無や学校の対応などを調べ、報告書をまとめる。  2019/6/10 第1回会議 <a href="http://www.town.watari.miyagi.jp/index.cfm/6,42777.c.html/42777/r01-26t-02-0905.pdf">http://www.town.watari.miyagi.jp/index.cfm/6,42777.c.html/42777/r01-26t-02-0905.pdf</a>	6人。 第三者委は町教委が新たに選ぶ有識者3人と遺族側が推薦する3人の計6人の委員で構成。  委員長: 土井 浩之 弁護士 副委員長: 菊地 秀(しゅう) 弁護士  今井 聖(さとし) 淑徳大学講師 君島 智子 東北福祉大学助教 東海林(しょうじ) 渉(わたる) 東北学院大学准教授 渡部 裕一 宮城県精神保健福祉士協会精神保健福祉士	

			<p>母親に「学校に行きたくない。死にたくなる時がある」と打ち明け、家族は学校に状況を伝えたが、適切に対応してくれなかったという。</p> <p>学校は3月10日に基本調査に着手し、生徒へのアンケート、教職員への聞き取りもしたが、遺族に対する報告を3月26日から、4月17日に延期していた。</p>			
98	2019/3/23	自殺	<p>佐賀県基山町の私立東明館中学・高校の男子生徒(中2・14)が自殺。</p> <p>生徒に不登校はなく、前日(3/22)に行われた終業式には出席していた。</p> <p>2019/4/1 保護者から学校に自殺の報告。いじめの疑いがあるという。</p> <p>4/2 学校は、いじめ重大事態として県に報告。</p>	<p>学校法人東明館学園は、第三者委員会を設置。</p>	<p>弁護士や精神科医、私立学校の校長経験者ら計5人</p> <p>委員長:高尾 兼利 西九州大学教授・臨床心理士会長・県いじめ問題対策委員会の委員長</p>	<p>2020/5/30 第三者委員会の報告書を、遺族が公表を望んでいないとして、非公表とすることを決定。</p>
99	2019/4/18	自殺	<p>熊本県熊本市の市立中学校の男子生徒(中1・13)が自宅マンションから飛び降り自殺。</p> <p>男子生徒は小6時に担任の男性教諭から同級生</p>	<p>2020/3/ 遺族や他の保護者が、小6時の担任が複数の児童の胸ぐらをつかむ体罰や「役に立たない」などの暴言を繰り返していたとして、調査を求める。</p> <p>市教委は、直後は担任について</p>		

			<p>が体罰や暴言を受けたことに心を痛め、「先生がうざい」と漏らしていた。</p> <p>2019/3/ 男子生徒の親を含む保護者らが、男性教師が体罰などを繰り返しているとして、再発防止を求める嘆願書を市教委に提出していた。</p> <p>自殺約1カ月前、小学校内で生徒のノートに「死」と書いてあるのを別の教諭が見つけたが、両親に報告しなかった。</p> <p>2020/3/30 市教委は同級生から自由記述式のアンケートをとったり、小学校校長から聞き取りをして、「いじめや友人とのトラブルは見られない」と国に報告。基本調査報告書に自殺原因の記載は一切なかった。</p> <p>市教委は、調査結果について、男子生徒の保護者への説明を拒否。文科省の指針を知らなかったとした。</p>	<p>調査をしていなかった。その後の調査で、小学校6年時の担任教師が同小に赴任した2014年以降、体罰や「バカ」「アホ」などの暴言など39項目の不適切行為があったことが判明。</p> <p>2020/3/30 市教委は第三者委員会を設置する方針。</p> <p>遺族は、「第三者委では、自殺と不適切指導との関連を踏み込んで調べてほしい。」「遺族の意向を踏まえて委員を選ぶよう」求めている。</p> <p>「市子どもの死亡事案に関する詳細調査委員会」を健康福祉局子ども政策課に設置。</p>		
100	2019/4/30	自殺	茨城県高萩市の市立萩中学の女子生徒(中3・	教育委員会は、第三者委員会を立ち上げ調査する。	6人 弁護士2人、大学教授2人、児	

			<p>15)が自宅の自分の部屋で自殺。女子生徒が自筆で残したメモに、男性顧問が卓球部の部活中、全部員に対し「ばかやろう」「殺すぞ」などと発言したほか、物を床に投げ付けたり、複数の部員の肩を小突いたりしたことなどが記されていたという。</p> <p>2018/9/ 女子生徒は学校のアンケートに「学校は楽しいけれども、部活動はつまらない。やっているといライラする」と記していた。</p> <p>2019/3/15 女子生徒は登校していたが、練習に出なくなっていた。</p> <p>3/20 教育委員会に、指導に関する匿名の相談が寄せられ、学校側が教諭を指導し、部活の様子を見守るなどしていた。</p>	<p>女子生徒の自殺について</p> <p>(1)事実関係と実態の把握</p> <p>(2)再発防止策の提言を求めた。</p> <p>調査内容や方法、提言の時期は今後委員会で検討する。</p>	<p>童相談所職員1人、臨床心理士1人</p> <p>委員長:茂手木 克好 弁護士</p>	
101	2019/6/8	指導 自殺未遂	<p>兵庫県宝塚市の市立宝塚中学校で文化部の男性顧問教諭(30)は、女子生徒(13)を個別に練習させた方が良いと判断し、</p>	<p>2019/9/ 宝塚市長の付属機関「子どもの権利サポート委員会」が調査。</p> <p>市教委は生徒や顧問の聴き取</p>	<p>弁護士ら6人</p> <p>委員長:田中 賢一 弁護士</p>	<p>2020/ 調査を終える。</p> <p>県教委は詳細について、「公表しないよう生徒側から求められている」として、非公表。</p>

			廊下に出て1人で練習するよう指示。その後、生徒は校舎4階から飛び降り、左腕を骨折する重傷。女子生徒の戻りが遅いのを心配した男子生徒が様子を見に行ったところ、校舎の外の溝に倒れているのを発見したという。	りで、基本調査報告書を作成済み。今後、第三者委員会が事故の原因や経緯などを詳しく調べる。		2020/6/23 県教委は、「体罰や暴言はなかったが、生徒を精神的に追い詰める厳しい指導があった」と認定。顧問だった男性教諭(30)を停職1カ月の懲戒処分。当時の校長3人について、対応が不十分として減給や戒告処分。
102-1	2019/7/3	不登校後、自殺	三重県志摩市の市立中学校の男子生徒(中3)が、自宅で自殺。男子生徒は1年生時、忘れ物を教師に報告しなかったことを別の男子生徒に責められ、直後から不登校になっていた。生徒の自殺を受け、学校が同級生150人にアンケート調査。市教委は不登校原因をいじめと判断。	2019/9/12 市教委は事実関係をさらに詳しく調べるために、第三者委員会「市いじめ問題専門委員会」を設置。  第三者委は、同級生へのアンケートや教員らへの聞き取りなどをもとに計13回の会合。	大学教授や臨床心理士など4人。  弁護士など調査委員2人。	2020/7/27 報告書提出  市教委は「遺族の意向」として報告書を公表していない。
102-2			遺族側は、「調査の掘り下げが不十分で納得がいかない」として、より詳細な調査を要望する。	2020/8/19 市は、いじめ防止対策推進法に基づき、市長部局による「市いじめ問題再調査委員会」を設け、別の専門家で事実解明を行うことを決定。	教育や法律、心理、医療分野の有識者	
103	2019/7/3	自殺	岐阜県岐阜市の市立中学校の男子生徒(中3)が、マンションから飛び	2019/7/ 市教委は、いじめ防止対策推進法に基づき、弁護士などの外部委員で作る「いじめ問	弁護士など  委員長:橋本 治 (日本自殺	2019/11/5 会議で、男子生徒が死亡する前日(7/2)の休み時間、校内の男子トイレで、和式便器に頭を突っ込むような姿勢を取らされ



		<p>降り自殺。 自宅から、「自分が死ねば(いじめた側は)反省するかな」との趣旨や金銭を要求されていたこと、同級生の名前などが書かれたメモが見つかった。 当該校で6月に実施した定期アンケートの「困っている仲間はいないか」という設問に、男子生徒が「嫌な思いをしていると思う」と回答した生徒がいた。当該生徒はいじめについての回答をしていなかった。また、5月末の給食の時間には同級生から嫌いな食べ物を押しつけられたこともあった。学校は当該生徒に聴き取りをし、対象生徒を指導するなど経過を見守っていたという。 2019/7/4 保護者説明会の質問で、5月末、同級生の女子生徒が「物を隠された」「(男子生徒を)見下す」などの内容が時系列で書かれたメモ1枚を</p>	<p>題対策委員会」の設置を決定。 年内にも調査結果をまとめる方針。  2019/7/12 初会合 ・いじめの事実関係 ・学校の対応の事実関係 ・いじめと死の関係 ・実効性ある再発防止策の4項目の真相究明と提言を諮問  学校が事案発生後、3年生と当該生徒が所属していた部活動の部員にとった約200人分のアンケートの9割が回収され、未開封のまま、調査委員会が預かる。  委員と弁護士2人一組で同級生らに聴き取り調査。  2019/9/27 第三者委員会は、いじめを見聞きした同級生らから聞き取りした結果、男子生徒は給食で嫌いな食べ物を押しつけられたり、現金をとられたり、トイレで土下座させられたり、現金を要求されたりするなどいじめと疑われる行為が約30件あ</p>	<p>予防学会 理事) 高橋 博志 (岐阜県弁護士会) 杉田 その子(岐阜県臨床心理士会) 美濃島 慎平(岐阜市PTA連合会) 大河内 祥晴(有識者)</p>	<p>ていたことを、複数の生徒が目撃したことが判明。加害者は同じクラスの3人程度の男子生徒。、委員会はこの行為が主因となり死に至ったと認定 2019/12/23 報告書提出。 男子生徒は中学1年からいじめを受け、特に亡くなる1カ月前の5月中旬ごろから、部活や学級でのいじめが激しくなった。 5月末、同級生の女子生徒がいじめの事実を伝えた手紙を担任に渡したが、担任は加害側生徒2人から事情を聞く際、うち1人に女子生徒の手紙の一部を示して「同級生が訴えてきた」と話した。担任は結局、いじめと判断せず、給食マナーを指導することとどめ、校長らにも報告しなかったという。 委員会は、この時の指導がきっかけで、いじめがエスカレートしたと認定。 土下座の強要や金銭の要求、蹴ったり殴ったりといった暴行など計34件のいじめを事実認定。「多くのいじめが日を追うごとに激しくなり、自殺の主要因になった」と指摘。「教員間の連携不足など学校の対応が不十分だったため、いじめの激化を止めることができなかった」とした。  再発防止策として、教員にはいじめを認識したら速やかに報告し、学校の組織的な対応につなげるよう提言。  当該校は教育研究に力を入れ、岐阜県各</p>
--	--	---	---	---	--

			<p>「生活ノート」に挟んで学級担任に提出していたことが判明。受け取った学級担任はメモをもとに同級生を指導したが、その後メモをシュレッダーにかけた可能性が高い。「物を隠された」などの情報が寄せられたことは市教委に伝わっていなかった。また、市教委は男子生徒の死亡直後の4、5両日、同級生十数人が、死亡した生徒へのいじめを疑わせる情報を学校に伝えたことも明らかにした。</p> <p>また、男子生徒は1、2年生のときの定期アンケートでも「嫌なことをされた」「暴言をはかれた」と記したが、進級後引き継がれなかった。</p>	<p>つたと明らかにした。今後、事実かどうかやいじめに当たるのかななどを精査する。</p> <p>2019/11/ トイレでのいじめ行為について、これまでは伝聞による証言だったことから、11月22日の前回会合以降、改めて57人の生徒に調査。複数の目撃証言が得られたという。</p> <p>男子生徒を学校のトイレで土下座させたとみられる同級生からは、聴き取りができなかった。</p>	<p>地の教師のリーダーを育てる「実習校」の一つ。2018年度は他県の大学などの視察や公開授業、研究会が計25回あり、約960人にのぼった。トイレ事件があった日も、県や市の教委職員らが学校を視察に訪れていた。(2020/1/24 朝日新聞)</p> <p>報告書は、遺族の意向で多くが白紙や黒塗りとなった。学校の組織的な対応に関する記述が白紙になっていた。(2019/12/27 岐阜新聞)</p> <p>2020/1/17 岐阜県警は、強要の疑いで、同級生の男子生徒3人を書類送検。うち1人は、現金を脅し取ったり生徒を平手打ちしたりしたとして、恐喝や暴行容疑でも書類送検。</p> <p>2020/3/23 岐阜教育委員会は、いじめへの組織的対応が不十分だったなどとして、男性校長(57)は減給10分の1(3カ月)、男性教頭(51)と学年主任の男性教諭(42)は減給10分の1(2カ月)。</p> <p>2019年退職した当時の担任(33)は減給10分の1(6カ月)が相当とした。</p> <p>また、学校現場を指導する立場として早川教育長が自ら責任を取りたいと申し出て、教育長の給与を4月から3カ月間、10%減額する。</p>
104	2019/7/31	自殺	福岡県久留米市の市立	2019/12/12 市教委は、保護者	教育心理学が専門の大学教

			<p>中学校の女子生徒(中3・14)が、市内マンションから飛び降り自殺。 生徒はこの日、部活動のため登校し、屋前に下校したという。 自宅から遺書が見つかった。</p>	<p>からの訴えを受け、第三者委員会の設置を発表。  2020/1/10 初会合</p>	<p>授、精神保健福祉士、臨床心理士、弁護士2人の計5人。  委員長:橋山 吉統 弁護士 (元県弁護士会子どもの権利委員長)</p>	
105 -1	2017/4/ 2019/9/8	自殺未遂 →自殺	<p>埼玉県川口市の市立中の男子生徒・小松田辰乃輔(しのすけ)くん(中2・14)が入学当初からいじめを受けたとして、自宅近くのマンション3階から飛び降り、頭蓋骨などを折る重傷を負った。 生徒は 2016 年4月に入学し、5月ごろから、サッカー一部の同級生や先輩に悪口を言われたり仲間はずれにされたりした。 2016/9/ いじめの内容や加害生徒の氏名を書き、「いじめられている」と助けを求める手紙を担任に複数回手渡したが返事はなく、いじめは止まなかった。 2016 年9月中旬から 10月下旬、男子生徒は自宅</p>	<p>2017/10/ 1回目の自殺未遂から1年以上が過ぎて、重大事態として市長に報告。 2017/11/2 学校側はいじめがあったと認め、第三者委員会を設置。 市教委定例会議で教育長は「個人情報を含む内容のため秘密会で行いたい」と発言。被害者側に説明をしたという。 2017/11/27 第3回委員会で、調査は中断。 2018/8/ 調査再開。  2018/10/12 保護者は、「重大事態ということや調査委員会があることなど調査の経過は一切説明がない」と話す。 市教委は、「調査が中断したのは、被害生徒からの事情聴取ができないとみたからであり、でき</p>	<p>弁護士、医師、学識経験者の3名。 被害者側にも非公表  2018/11/20 記者会見で、委員氏名を公表。  委員長:小山 望 埼玉学園大学教授・臨床心理士  委員の氏名を生徒側に伝えていなかった理由を「本人や保護者への聞き取りが必要となる時期に説明することから非公開としていた」とした。</p>	

		<p>で2度首をつり一時意識不明となった。</p> <p>2016年11月、学校は無記名のいじめ調査を実施。教頭は「調べたが、いじめの実態はなかった」と電話で報告。</p> <p>その後、3回目の自殺未遂。頭蓋骨や太ももの骨を折る大けがをし、車いす生活になった。</p> <p>2018/6/ 学校で加害生徒から謝罪を受ける席が設けられ、約半数の7人が謝罪。一方、「大けがをしたことを他人のせいにするな」と言った保護者もいた。</p> <p>(2018/10/9 判明)</p> <p>2019/9/8 未明に近くのマンション最上階の11階から飛び降り自殺。自室から「教育委員会は、大ウソつき。いじめた人を守って嘘ばかりつかせる。いじめられたぼくがなぜこんなにもくしまなきやいけない。ぼくは、なんのためにいきているのか分からなくなった。</p>	<p>ると判断したので再開した。経過は担当者が(被害生徒側に)説明したと言っている」と話す。</p>		
--	--	--	--	--	--

			<p>ぼくをいじめた人は守ってて、いじめられたぼくは、誰にも守ってくれない。くるしい、くるしい、くるしい、つらい、つらい、くるしい、つらい、ぼくの味方は家ぞくだけ」とあり、別のページには、「今度こそさようなら」とも記されていた。」などと書いたノートが見つかった。 (自殺当時、県立特別支援学校高等部1年・15歳)</p>			
105-2		自殺未遂 → 自殺		<p>2020/4/ 市教委は現在の調査委員会の委員3人を解任し、遺族が要望した弁護士や医師などの専門家に全員入れ替える。 調査委員会では今後、自殺に至った背景や、学校や市教育委員会の対応についても調査を進める。</p>		
106	2019/11/	自殺未遂	<p>大分県大分市の中学校の女子生徒(中1)が、生徒は、小学6年の夏ごろから、同級生から暴力や暴言などのいじめを受けたと保護者に訴えたあと、自殺未遂。11月にも自殺未遂。 保護者は市教育委員会</p>	<p>2019/11/20 市教委は、いじめの内容や対応の問題点などを検証する協議会を設置。 生徒が通っていた小学校の職員らのほか、弁護士や臨床心理士を含むメンバー15人が、いじめの内容や再発防止策をまとめる。</p>	<p>生徒が通っていた小学校の職員らのほか、弁護士や臨床心理士を含むメンバー15人</p>	

			に対し、小学生のころから、同じ同級生に継続的にいじめを受けていたため、小学校に対応を求めたが、「子ども同士のけんか」として、中学校への引き継ぎも行われなかったと、訴えている			
107	2019/12/4	自殺未遂	<p>山口県下関市の市立小学校の女子児童が、自宅でナイフを首の近くに当て自殺を図ろうとし、保護者に止められた。</p> <p>10月中旬、女子児童は校内で転倒して腕や顔を打ち、全治約2週間のけがをした。「複数の男子に足をかけられて転んだ」と訴えたが、相手側の児童が否定したため、学校はいじめの基準で一番軽度な「日常的衝突」と判断して市教委に報告。</p> <p>女子児童は休みがちになり、スマートフォンで「きれいな死に方」と検索した形跡も見つかかり、保護者が担任らへ連絡。数日後、女子児童は前回と</p>	<p>2019/12/5 市教委は、心身に重大な被害が生じた疑いがある「重大事態」と認定して対応するよう学校に指示。</p> <p>校長は認定が遅れた理由について「欠席日数が重大事態の目安となる30日に達していなかった」と釈明。</p> <p>同校では、50代男性教諭が同僚や児童に暴言を放つなど長年不適切な指導をしていたとして、市教委が調査に乗り出している。男性教員は、不適切な言動について、過去8回程度の指導を受けていた。</p> <p>【教育委員会議事録】令和元年12月定例会 会議録 <a href="http://www.city.shimonoseki.lg.jp/www/contents/1217901055728/files/gjjiroku1912.pdf">http://www.city.shimonoseki.lg.jp/www/contents/1217901055728/files/gjjiroku1912.pdf</a></p>	<p>重大事態調査委員会のメンバーは、校長、教頭、教務主任、教育相談、担任、教育委員会、スクールカウンセラー、診療心理士</p>	<p>2020/3/19 女児側が、元校長に侮辱を受けて精神的な損害を受けたとして、110万円の損害賠償を求めて、下関簡易裁判所に提訴。</p> <p>2019年11月頃、在任していた元校長は、女児の母親について他の保護者に、「自分の子どもがいじめられてもいないのに、いじめられたと子どもに嘘を言わせている」などと発言したという。女児がいじめを訴えても、学校側はいじめを認めず放置し、後に保護者が遺書を発見して報告しても調査しなかったとしている。</p>

			<p>同じ児童の一部と再びトラブルになり、蹴られたと主張したが、学校は「わざとではなかった」と結論。保護者が警察に相談したと知って、校長らは女子児童が登校時は教室で授業中の様子を見守るなどの対応を決めた。11月中旬、女子児童は学校を完全に欠席。学校は登校するよう電話で促すなどしていた。</p>		
108	2020/4/6	自殺	<p>大阪府八尾市の市立中学校の男子生徒(中1・12)が自宅で、自殺。遺書はなかったが、当日、家族に同級生とトラブルがあったと話していた。男子生徒が中学校に登校したのは、4月3日の入学式のみ。週末を挟み、6日は新型コロナウイルス対策で休校になっていた。</p> <p>2020/5/ 家族が学校に調査を求め、同級生にアンケートを実施。亡くなった当日、SNSで複数の同級生とやりとりがあった</p>	2020/6/10 市教委は、いじめ重大事態に認定し、第三者委員会を設置して、調査を進めている。	

			<p>ことが判明。 2020/5/ 上旬、学校は同級生からの聞き取り。 5/下旬、保護者説明会、生徒へのアンケート調査を実施。 5月末、遺族に調査の結果を報告。報告書は概略のみで8頁。</p>			
109	2020/6/22	自殺	<p>北海道登別(のぼりべつ)市立鷺別(わしべつ)中学校の工藤虎太郎くん(中1・13)が、朝、登校時に自殺。 遺書はなかったが、現場に残されたスマートフォンに、「部活を休むのであれば筋トレを 30 分やれ、それを動画で送れと…」などとサッカー部員から筋トレを強要されるやりとりなどがあった。 母親は、学校の部活でいじめがあり、自殺したと訴えている。 市教委は、全校生徒に記名式アンケートを実施。</p>	<p>教育委員会は重大事態とみて、弁護士らでつくる第三者委員会に諮問する。</p> <p>2020/7/22 第1回目</p> <p>市教委によると、生徒は事前に悩みを教員に相談しており、学校側の対応も調べる。</p>	<p>5人 会長:竹内 亮平 (精神保健福祉士) 副会長:水上 志子 (臨床心理士) 委員: 増川 拓 (弁護士) 阿知良 洋平 (室蘭工業大講師) 皆川 夏樹 (登別市 PTA 連合会理事)</p>	

「日本の子どもたち」 <http://www.jca.apc.org/praca/takeda/> ⇒ 「オリジナル資料」 [http://www.jca.apc.org/praca/takeda/takeda\\_data.html](http://www.jca.apc.org/praca/takeda/takeda_data.html)